

FUJIEDA ROTARY CLUB

Weekly Bulletin

例 会： 毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL：054-641-3321
事務局： 藤枝市青木1-9-16 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
E-mail：club1972@fujieda-rotary.org



会長：青島 克郎 副会長：松葉 隆夫 幹事：仲田 廣志 副幹事：増田 國衛

第1771回

<ソング> 我等の生業

<ソングリーダー> 森下 敏顯君



2008-2009年度 RIテーマ

夢をかたちに

李 東建

緋合歓の花

写真提供：竹田 勲君

会長報告

青島 克郎君

本日はお忙しい処を第5分区ガバナー補佐の大石訓永様とガバナー補佐事務局次長の浅原 博様がお越し下さいました。

先程、正副会長、幹事と会員増強委員長が同席し9月3日のガバナー補佐公式訪問時のクラブ協議会についての打ち合わせを行い、大石ガバナー補佐からご丁寧なご指示を頂きました。当日は例会時間を15分ほど延長し会員増強を主題とし進めて参りたいと思いますので皆様ご承知おき下さい。

本日はクラブ協議会2日目で会員増強、クラブ管理運営、奉仕プロジェクト、ロータリー財団の4大委員長に本年度の方針発表をして頂きます。クラブ活性化のための積極的な発表を期待いたします。

前年度ソングリーダーの折、駄洒落で皆様を楽しませてくれた中部電力の望月俊昭君が栄転され、後任の鈴木勝弘君が本日より例会に出席されます。早く当クラブに馴染まれ、同好会等にも積極的に参加されおおいにクラブライフを楽しんで頂きたいと思います。

私が当クラブに入会させていただいたのが昭和63年2月3日でした。

今でこそ会員増強が重要な課題となっていますが当時は当クラブも68名の会員が在籍し会員増強よりは会員選考と職業分類に重きが置かれていたように思います。

昭和63年は東京ドームが完成し、青函海底トンネルが開通し、東海道新幹線の掛川駅、新富士駅

が開業した年です。この年の経済は年間を通じ順調な拡大を続け年初2万2,3千円だった日経平均株価も年末には3万円と上昇していました。

自動車など高額商品の個人消費と設備投資がリード役となり内需がさらに内需を増大させる拡大型経済成長を遂げ、雇用倍率も1倍を超す状況で現在とは大分様子が違いました。そして2年後にはバブル崩壊に突入して行くわけですが、ロータリーの会員数も連動するかのよう減少してきました。現在の株価が当時のおおよそ半分で当クラブの会員数が当時の約52パーセントですから経済動向とロータリーの会員数の関係はやはり切り離せないのでしょうか。何とかこの関係を断ち切りたいと思いますが如何でしょうか？

幹事報告

仲田 廣志君

- 2007～2008年度道部ガバナーより1年間のお礼の挨拶が届いています。
- 榛南ロータリークラブより会報が届いています。
- 藤枝子供と本をつなぐ会通信が届いております。
- 第24回国文祭藤枝、岡部実行委員会の総会の資料が届いています。

出席報告

山田 昭雄君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
28/36 77.78%	27/34 71.05%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○落合君 ○北村君 板倉君 飯塚君 鈴木舜君
仲田晃君 望月志君 青島彰君

■ ビジター

大石訓永 静岡第5分区ガバナー補佐

浅原博 静岡第5分区ガバナー補佐事務局次長

■ 入会式

鈴木勝弘君が入会されました。



氏名：鈴木勝弘

会社名：中部電力(株)藤枝営業所

役職名：所長

会社所在地：藤枝市青木2-17-39

生年月日：昭和30年7月15日

◎ガバナー補佐訪問挨拶

大石 訓永様



国際ロータリー第2620地区、静岡第5分区のガバナー補佐を任命されました大石でございます。一年間分区内の各クラブと地区のパイプ役としてお手伝いをさせて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

これまで3回のガバナー補佐研修を受けてきましたが、まだまだ不安の多い状態であります。

各クラブの会長、幹事さんと連絡を密にして役目を果たすべく頑張っています。

ガバナーの方針を正確に伝え、ご理解を頂くと共に、各クラブの実情をなるべく正確に把握してガバナーに報告する事により、地区と各クラブの連携を図るのが役目であると認識しております。

各クラブには年4回訪問させて頂く事になりますのでよろしくお願い致します。

今年度のRI会長方針、ガバナーの方針につき

ましては、ガバナーの公式訪問時に詳しくガバナーからお話があると思われますが、公式訪問の日程はこの分区は9月中旬～10月中旬となっております。主たるガバナー方針について少しお話をさせていただきます。

牧田ガバナーが最大の課題としておりますのは、会員の減少の問題であります。2620地区の会員のピークは平成7年の高橋ガバナーの時、4580人です。今年度スタート時の会員は3420人、13年間で1160人の減少です。今まで地区の目標の中には必ず会員増強は唱われてきましたが、何とか減少をくい止めないと将来のロータリー活動に支障をきたすという危機感を持っておられます。特に今年は減少の阻止、各クラブ純増1名を目標にさせて頂きたいというのがガバナーの切なる願いであります。

特に牧田ガバナーは当分区の静岡ロータリークラブの会員でありますので、第5分区の各クラブには純増2名を達成して頂くよう会長、幹事会でお願いして、各クラブのご了承を頂いております。

最近、特に食品の偽装問題が大きな社会問題となっております。今こそ、ポールハリスの提唱した“職業奉仕”の理念が必要となっております。魅力ある楽しいロータリーを目指し、退会防止と会員増強を図って頂ければと思っております。私も一生懸命お手伝いをさせて頂きたいと思いますので一年間ご協力頂きます様お願い致します。

■ スマイルBOX

山田 昭雄君

- 1年間無事会長をつとめることができました。皆様の御協力に感謝いたします。 村松 英昭君

スマイル累計額 39,000円

■ クラブ協議会

会員増強委員会

後藤 功君



今年度は新しく I T 委員が加わり総勢 10 名です。年度末に 3 名の退会者があり現在、会員数 36 名です。今年度は地区がどうの、分区がどうのと言う前に我がクラブあげて増強に取り組まなければならない状況であり、年度です。会員一人ひとりが増強の責務があるわけですが、本年度はこうしたことを会員全員で実際に実行し、ただひたすら汗を流していただくようお願いしたい。会長のテーマ『全員参加で活力を』をぜひ実践をお願いし、純増 3 名をめざします。

今年度職業分類を何年かぶりに見直していただき未充填職種が明確になりました。又、前年度の増強委員会から推薦候補資料を引き継いでおります。必要な方は事務局へお話し下さい。大手会社につきましては工場長部会より是非お話戴くようお願いいたします。

勧誘に思う

- ・ ロータリーは良い友をつくる場所
- ・ 商売を活発にやっている人を主に勧誘する
- ・ R C の専門用語は使用しない方がよい
- ・ あまりしゃべらない、相手にしゃべらせる、相手の長所を引き出し、関心のあることでだけを話す
- ・ あなたは R C に向いていると褒める。クラブにあなたは必要な人である
- ・ やめると言ったら引き留める。ダメなら残念だね、又都合が付いたら入ってねと、再入会を約束しておく

会員減少には、クラブの活動の低下、経済的な背景、高齢化の問題等があります。その為にも間断なく増強をしていかなければなりません。

会員には「ロータリー精神を他の人々と共に分かち合う」という責務もあります。景気も少し下り坂、そうした中ですがロータリーを楽しみながら、奉仕活動で心身をリフレッシュしてロータリー活動を続けて下さい。

クラブ管理運営 委員会

増田 國衛君



クラブ管理運営委員会委員長という大役を仰せつかり身の引き締まる思いで一杯です。自信はありませんが皆様方の御協力の下、一生懸命頑張つて行く所存ですので宜しくお願い致します。

また、サラリーマン重役のためスケジュールのコントロールができなく例会を欠席する事が多々あると思いますが、御容赦の程宜しくお願い申し上げます。

クラブ管理運営委員会の担当業務は多岐にわたるため、いずれの業務についても委員全員で取り組んで参ります。有意義で楽しい例会作り、会員相互の一層の親睦が図れる行事等、委員一同一丸となって頑張りますので委員以外の皆様のご協力も宜しくお願い致します。

奉仕プロジェクト 委員会

酒向 謙次君



今年度も、奉仕プロジェクト委員会委員長を仰せつかりました、酒向です。委員会の主題は、「地域の活性化に向けた活動」です。主題を各委員会に落として、具体的な活動に変えていきます。社会、国際奉仕担当は私が兼任し、昨年と同じく静岡産業大学の冠講座を実施しロータリー活動の職業倫理を学生、市民に伝えることを社会奉仕のメイン活動にします。国際奉仕は、同じく同大学の留学生を対象にした会員会社への訪問、交流です。昨年は、7 社、50 名を招き交流をいたしました。

また、職業奉仕リーダーは、春原さん、新世代・インターアクトリーダーは、大塚さんになって頂

き、委員メンバーも強力メンバーなんで計画どおり遂行できていると思っています。

最後に、私が、冠講座で話す機会があり、気付いたことをお話しします。ロータリアンなら当たり前のことですが、私の中では、妙に感激をもって気付いたと思ったことです。ロータリアンの4つのテストです。「真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなの為になるかどうか」ですが、これを企業運営、個人の生活に置き換えてみてください。企業は、「経営の継続」、個人は、「平和に生活する」、を考えたときこの4つのテストは、その必要十分条件なんですね。そんなにロータリーが特別なことを言っているわけではないことに、気付きました。しかし、ロータリーが、職業倫理としてこの言葉に置き換えて具体的に行動してきたことに驚きました。ロータリー活動に改めて敬意と誇りを持った次第です。

ロータリー財団
委員会
杉浦 良一君



ロータリー財団が地域社会や国際社会に行ってきた成果を会員に周知させることで、年次寄付をお願いします。恒久基金寄付への理解を求め、且つその目標達成のために努める

<事業計画>

ロータリー財団寄付 US\$100 ベネファクター最低一名以上 財団学友会、会員による卓話、米山記念奨学会事業寄付、又ポリオ撲滅運動のため、全世界のロータリークラブに対して今後3年間、1クラブ当り毎年1000ドルの寄付の要請がありました。

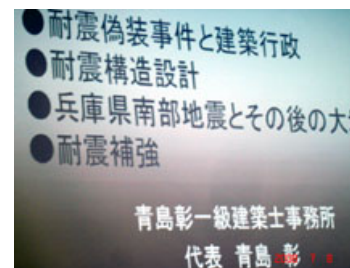
■ 第11回冠講座

<7月8日>

『耐震偽装からゆれ続ける建設業界

東海地震に備えて』

青島建築事務所 代表 青島彰君



(担当/森下)